

令和6年度第1回大船渡市公共下水道事業運営審議会 会議録

■日 時 令和7年2月10日（月）14:00～15:10

■場 所 大船渡市役所 第一会議室

■出席者

（委員）小原勝午会長、佐藤公精副会長、平山学委員、松澤和世委員、古坐勝利委員、大和田洋太郎委員、志田武委員、鈴木きよ子委員、瀧澤清人委員

（事務局）佐藤上下水道部長、今野下水道課長、中沢課長補佐、岡崎課長補佐、門口係長、高橋係長、澤田係長

■欠席者 古澤洋子委員

■報告事項 (1) 大船渡市公共下水道事業の状況について
(2) 令和6年度公共下水道事業の実施状況について
(3) 令和7年度公共下水道事業予算及び事業計画について

■会議経過 以下のとおり

1 開会

（今野課長）

それでは、只今から令和6年度第1回大船渡市公共下水道事業運営審議会を開会させていただきます。これより、進行を務めさせていただきます、下水道課の今野でございます。どうぞ、よろしく願いいたします。

本日は、過半数を超える委員の皆様にご出席いただいておりますので、大船渡市公共下水道事業運営審議会条例の第6条2項の会議開催の要件を満たしていることから、本審議会が成立していることをご報告申し上げます。

また、市では、市民の市政への参加と協働のまちづくりを推進することを目的として、市が設置する審議会や協議会等の情報を市公式ホームページで公開しております。本審議会につきましても、議事録等を公開することとなりますので、開会にあたり、委員の皆様にお知らせいたします。

次に、本日は新たな委員の皆様による、第1回の会議となりますので、事務局である上下水道部の担当職員を紹介させていただきます。

<職員紹介>

2 会長及び副会長の選出

（今野課長）

次に、次第2の「会長及び副会長の選出」に入ります。お手元の資料の最後のページをお開き願います。本審議会条例第5条に「会長及び副会長各1人を置き、委員の互選とする。」と規定されております。この場で選出していただくこととなりますが、会長選出までの間の進行は、私が務めさせていただきます。会長及び副会長の選出について、委員の皆様から選考方法について、ご意見をお願いいたします。

(大和田委員)

自薦他薦なければ、事務局に案あればどうでしょう。いかがでしょうか。

(今野課長)

只今、大和田委員から、事務局の提案とのご発言がありましたが、その他ございませんでしょうか。

(全委員)

なし。

(今野課長)

それでは、事務局の提案をお願いします。

(岡崎補佐)

それでは、事務局案を申し上げます。会長には、商工会議所の小原委員様をお願いしたいと考えております。また、副会長には、盛地区の佐藤委員様をお願いしたいと考えております。以上でございます。

(今野課長)

只今、事務局から、会長に商工会議所の小原勝午委員を、副会長に盛地区の佐藤公精委員をお願いしたいとの提案がございましたが、ご異議ございませんでしょうか。

(全委員)

異議なし。

(今野課長)

ありがとうございます。それでは、会長には大船渡商工会議所の小原勝午様、副会長は盛地区の佐藤公精様に決定いたします。お二人方には、どうぞよろしく願いいたします。

続きまして、会長に選出されました小原勝午様、会長席のほうにお移りいただき、恐れ入りますが、ごあいさつをお願いいたします。

3 会長あいさつ

<小原会長から挨拶>

4 報告事項

(小原会長)

それではお手元の資料によりまして、会議を進行させていただきたいと思っております。

本日の議題は「(1)大船渡市公共下水道事業の状況について」からということになります。それでは、(1)について報告をお願いします。

<事務局から、資料「(1)大船渡市公共下水道事業の状況について」を説明>

(小原会長)

ありがとうございました。只今の説明は、報告(1)公共下水道事業の状況についてということでした。

だいぶ丁寧に説明いただきましたが、けっこう専門用語が多く、理解が100%のところではないかもしれませんが、これだけは確認しておきたいなど、ございますでしょうか。

(佐藤委員)

収益的収支の状況①、令和5年度は88,164,000円の純損失を見込んで、決算額は68,816,026円の純損失、ここで経営戦略における見込みより19,347,974円の、この19,347,974円というのは純損失の見込み88,164,000円より収支プラスでいくと21.9%のプラスになっているようですが、19,347,974円の理由を教えてください。

(岡崎補佐)

主な理由といたしましては、当初の見込みより、事業費が抑えられたことがあります。

経営戦略の財政シミュレーションは、予算ベースで作っている部分があり、何かあった場合に備えた分などで、使わなかった分は不用額となります。そういった部分の費用が減るので、経営戦略と比較して収支がプラスになったと考えています。

(小原会長)

その他、何かご質問等がございますでしょうか。それでは「(2)令和6年度公共下水道事業の実施状況について」ということで説明をお願いします。

<事務局から、資料「(2)令和6年度公共下水道事業の実施状況について」を説明>

(小原会長)

ありがとうございました。只今の説明に関して何かご質問などございますでしょうか。

ちなみに補助事業、単独事業、それぞれありますが、補助事業というのは国からの補助ということでしょうか。単独というのは、市の基本計画の30,000,000円とありますが、30,000,000円の中身がもっと詳しくあればと。

(中沢補佐)

当初予算で30,000,000円の業務委託として見込んでおりますのは、現在の基本計画区域及び隣接する地域を含めまして、改めて区域設定を行うことの業務委託を行

っておりまして、その業務を予算化させていただいているものです。

(小原会長)

業務委託ということですね。ありがとうございました。

その他何かございますか。無いようであれば、それでは報告の「(3)令和7年度公共下水道事業予算及び事業計画について」ということで説明をお願いします。

<事務局から、資料「(3)令和7年度公共下水道事業予算及び事業計画について」を説明>

(小原会長)

ありがとうございました。只今の説明は令和7年度の公共下水道事業の予算と事業計画についてでした。只今の説明につきましてご質問はございますでしょうか。

(佐藤委員)

7ページ、3の公共下水道事業予算ということで68,494,000円の当期純損失ということで、前年度比較で42,948,000円の収支の改善を見込んでいるということで大事なことですけど、この42,948,000円の改善と68,494,000円を考えると、62.7%の改善比率になっている部分。この改善比率は非常に高くてよいなと私は感じました。

(岡崎補佐)

ありがとうございます。令和6年度から下水道使用料の見直しをさせていただいたところがございますけども、令和6年度の使用料改定におきまして、使用料の対象経費など見直しを行いながら、市からの補助金や出資金の調整等を図りました。その結果、令和6年度予算比では43,000,000円くらいの収支の改善になりましたが、それでもなお70,000,000円弱の純損失が見込まれる予算となっておりますので、引き続き経営戦略に則り、使用料改定等も含め、いろいろな改善を進めてまいりたいと思います。よろしくをお願いします。

(大和田委員)

私は初めてなのですが、単純に言いまして、令和7年度の事業計画予定が7件ですね。防災関係も含めて。令和6年度は事業については7件。令和6年度予算比較すると令和7年度はかなり減っている。これって大丈夫なのかというところが。公共事業の入札が不調になっている現状ですよね。これは、今後も今年も来年度もその傾向が続くだろうという素人考えでもわかるのですが、このように何%、何+%改善されたと言っても、本当に不調を予定した金額を想定した計画なのか予算計画なのか知りたいです。

(岡崎補佐)

只今のご意見、おそらく公共下水道に限らず、市の公共事業の発注、入札についての不調があることに関して、それに関連させてのご意見ではないかなというふう

に考えております。入札の不調につきましては、下水道に関して言えば建設系のほうで一定の基準に則って設計を組んでおります。仮に入札が不調になったらというご心配と思えますけれども、公共下水道事業におきましては令和6年度、昨年度と、不調になった事例は発生しておりませんので、順調に進めば事業計画の通り事業は進めていくことができるのではないかと考えております。以上でございます。

(大和田委員)

もう一つ。どのような用語でどのような説明かわかりませんが、下水道に接続している人口が11,372人、水洗化率が78.7%、この接続している人口の人数がこれって全般的に市の人口も減少しつつある。今後、令和30年頃になってくると、かなりの減少になっていると予測されているわけですが、接続率、接続人口という捉え方と接続世帯数という捉え方。一家の中で家族が減少していく、その土地の人数を言っているのか、あるいは5人家族もあれば2人家族もいる。ここのところの下水道に接続している人口は、人数確認はどのような形で把握、捉えているのでしょうか。

(岡崎補佐)

報告の中で申し上げましたのは人口となりますが、この他に当課では世帯数についても把握しております。今のところ、下船渡ですとか立根の未整備の区域への管路の拡大ということで工事を進めておりますので、確かに人口減少も深刻なスピードで進んでおりますけれども、今のところ、人口減少のスピードよりも工事を実施して、新たにつないでいただいたご家庭の数のほうが上回っているということで、数字のほうはプラスになっております。数字の抑え方につきましては、世帯に所属している世帯員を積み上げたもので水洗化人口というのを捉えておりますし、接続世帯数も捉えています。

今のところ人口減少は進んでいますけれども、接続世帯については、人口ほど減っている状況にはありません。けれども、今後さらに人口減少が進んで世帯数というのでも減る傾向のほう出てきて、かつ管路の整備にも一定の目途がついたときには、今までとは違った傾向で数字が出てくるのではないかなというふうには見込んでいるところです。

(小原会長)

その他何かご質問ございませんでしょうか。特に新しく委員になられた方で何かありましたらと思いますが。

工事箇所図がこういう形でありますけれども、委員の皆様方、自分のお住まいの所がどれくらい、今年くるか、この辺にも関心があるのかなと思いますが、令和7年度に関しては赤い部分、青い部分結構ありますが。下船渡地区あるいは立根ですね。

先ほど平成3年度からこの事業やっているということでしたが、下水道と申しますと今一番話題は埼玉県事故の関係だと思えますが、古くから管の老朽化とか、まさかこの地域がいきなり道路陥没するっていうことはないと思いますが、その辺も合わせて聞かせていただければありがたいです。

(今野課長)

当市の下水道の歴史を申しますと、供用開始してから30年程が経過したところでございます。

今回の八潮市の事故をきっかけに緊急で管径の大きいところを何点か重点的に調査しましたが、その調査の結果、今のところ腐食やひびなどは見られません。管を腐食させる硫化水素というガスの濃度が濃ければ濃いほど腐食の進行が速いのですが、その硫化水素濃度も測定しながら調査しましたが、今回調査したマンホールの中では観測されなかったということで、まだ、うちのほうは大丈夫かなと思います。

下水道法には、腐食の恐れがあるところは5年に1回定期的に点検しなさいという決まりがあるのですが、今後もそれに則って調査をしていきますし、国の方でも今回の八潮市の事故をきっかけに、点検のやり方とか頻度とかについて見直しをするかもしれないという情報も入ってきていますので、いずれ国の指導等に従いながら点検してまいりたいと思います。

今のところ市の管渠のほうでは腐食は見られないという状況でございます。

(小原会長)

とりあえず一安心です。その他何かございますか。

(古坐委員)

水洗化率はいくらかの改善はされているようですが、集団移転等で、浄化槽で水洗化しているところがあると思うのですが、浄化槽から下水道に切り替わったのは、どの程度あったのか教えていただきたいです。

(門口係長)

浄化槽から下水道への切替えの割合というのは把握しておりませんが、浄化槽対象区域としての普及率は抑えておまして、令和5年度末ですと、人口比ですけども73.6%ということで抑えております。

(古坐委員)

浄化槽設置した場合、下水道に接続するのが確か3年以内ですか、その辺はいくらか改善されていますか。

(門口係長)

令和4年度末で、先ほど申し上げた数字が73.2%、令和5年度末で対象区域のほうで73.6%ということで、浄化槽の対象区域の中としては増えております。それから下水道事業区域は増えて広がっていきますけども、先ほど委員おっしゃられた何年以内に接続ということで、事業区域が拡大したところには浄化槽を使っていた世帯ももちろんありますので、そちらのほうも順次切り替えているというのはございます。ただし、正確な数字については、そこの部分は抑えておりません。

(古坐委員)

その辺を強くPRしないと、なかなか下水道の事業収益が上がらないと思います。ですから、何かの機会に下水道工事したときに早めに切り替えてくださいというような広報なりそういったものをやっていかないと、作ったはいいけど接続率が悪くなったとなれば、なんのために整備するのかわからなくなると思いますので、その辺考えていただきたいなと思います。

(門口係長)

周知の部分に関して申し上げます。周知の部分に関して広報、それからホームページで浄化槽補助金等の広報をしておりますが、それにプラスしまして浄化槽をつけたところは、必ず下水道事業区域が拡大されましたらそちらのほうに切り替えが必要ですか、あとは公共事業全体の周知の中にもそういったものを入れさせていただいていますが、さらに今後もっとこうPRできる部分があればさらに改善してまいりたいと思います。

(岡崎補佐)

補足ですけれども、浄化槽を設置する際、市では浄化槽設置整備事業補助金というのを交付して、浄化槽による水洗化率の向上を図っていますが、その際に、もしもここに下水道が通りましたら速やかに切り替えますよってという覚書を頂戴して、補助を受けた方に対しては可能な限り速やかに下水道につないでいただくように促しております。

これは差し引きの数字にしかならないのですが、令和4年度末の下水道区域内における接続世帯数から、令和5年度末の接続世帯数は前年度比で11件減少しております。世帯自体がなくなるというのもありますけど、昨年度の下水道区域内の浄化槽世帯数が減少しておりますので、そういった意味ではある程度門口係長のほうから伝えた周知の効果ですとか、補助を出した際の覚書の効果ですとか、そういったもので、ある程度浄化槽から下水道への切り替えについても進めてもらっていただいておりますので、今後とも引き続き続けていきたいと思っております。

(小原会長)

よろしいでしょうか。この問題は以前から協議会でも出ているものでして、一旦合併浄化槽で整備してしまうと、いくら将来的に均した時ランニングコストが下水道のほうが安いよって言っても二重にコストがかかってきます。そういう部分ではなかなか難しいところがあるので、とにかくお願いとか周知をしていただくしか現状ないのかもしれないかもしれませんが、引き続き、その辺も努めていただければありがたいと思います。

その他、何かございますか。さっき、今年度は基本計画の見直しの年だということがありました。やはりこちらの収支内容が改善したとはいいいながらも大きなマイナスが出ている事業ですね。差し支えない範囲で、整備計画、例えば今までこれくらいのエリアを整備しようと思っていたとか、それとも縮小傾向にあるとか、その辺の方針みたいなのは出てらっしゃるのでしょうか。

(今野課長)

只今作業の真っ只中ですが、基本的には今の基本計画を縮小する方向にまとまりつつあります。まだ精査中なので具体的な範囲は言えませんが、基本的には縮小の方向は変わりません。というのも、これから下水道で整備する予定だったところの浄化槽の普及状況とかも実際調査したら、結構な割合で既に合併浄化槽が入っていきまして、同時に住民アンケートに、接続の意思があるかという設問を設けて未普及地域の皆さんにアンケートを取りました結果が、接続に対しての数値があまりよくなく、そういうことを考えると思い切って拡張できないというのが見えてきました。アンケート結果や浄化槽の普及というところを見ながら、将来的に経営が成り立つのかというふうな検証まで踏み込んでやっているところでございます。結果、だいぶ縮小する方向になりそうだということだけお伝え申し上げます。

(小原会長)

普及の全体像を見ながら審議会のほうで協議できればと思いますのでよろしくお願いいたします。その他何かございますか。

最後、その他ということになっておりますが、全体を通して聞きもらしたとことや確認しておきたいことはございますか。

無いようでしたら、本日予定しておりました議事については終了いたしましたので、以上で議長の任を解かせていただきます。ご協力ありがとうございました。

(今野課長)

小原会長には議事進行役、大変ありがとうございました。次に次第の5その他でございますが、委員のみなさまから何かございますでしょうか。今日いきなりすごい数字が並んだのを見て、わかり難いところもあると思いますが、何分、当市の下水道経営は非常に厳しいです。単年度赤字を出している自治体は県内市の中では大船渡市のほか、あと1事業体しかございません。その他はなんとか税投入もかなり頑張っていると思いますが、単年度赤字だったのは5年度決算では当市とあと1市。しかも、大船渡市の下水道使用料は、県内市の中では上から2番目の高い料金になっています。令和6年の4月に1回目の料金改定をしましたが、今日お配りしました経営戦略では、令和14年度までにあと2回改定しないと黒字までもっていけないというふうな内容になっていますので、あとでゆっくり目を通していただきたいなと思います。

それでは、その他として事務局から連絡事項がありますので、説明いたします。

(澤田係長)

事務局からの連絡事項として、任期中の審議会の開催予定と本日のご出席によります委員報酬について、連絡いたします。

はじめに審議会の開催予定でございます。本審議会は、当市の公共下水道事業の円滑な運営を図るために条例に基づき設置する機関であり、委員の皆様には条例に定める所掌事項について、市長からの諮問に応じて審議いただくこととなります。

また、諮問する事項がない場合におきましても、当市の下水道事業の状況につきましてご確認いただくため、年に1回、今の時期に会議を開催させていただき、事業の進捗状況や今後の整備予定及び予算、決算につきましてご報告させていただいております。

今年度につきましては、今回のみの開催となりますが、令和7年度につきましては、現在、下水道を整備すべき区域の見直しなどを含む大船渡市公共下水道基本計画及び事業計画の変更に着手しておりますことから、この変更計画の原案についての市からの諮問が予定されておりますので、そのことについて審議いただくため、時期は未定でございますが、概ね、年度の前半に会議を開催させていただく予定です。その際は、改めてご案内させていただきますので、よろしくお願いいたします。

次に、本日のご出席によります委員報酬等についてですが、2～3週間を目途に、市に登録いただいている口座に振り込みいたしますのでよろしくお願いいたします。連絡につきましては以上でございます。

(今野課長)

それでは長時間にわたりみなさん大変ありがとうございました。以上をもちまして令和6年度第1回大船渡市公共下水道事業運営審議会を閉会といたします。本日は誠にありがとうございました。

以 上